

研究実施状況報告書

平成30年4月25日

長崎県立大学長 様

研究責任者 所属 看護学科
職名 講師
氏名 三重野愛子

印

受付番号 324	承認番号 312
<p>I 課題 看護技術初学者の模範映像視聴による看護技術修得に影響する要因</p>	
<p>II 研究期間及び調査期間</p> <p>研究期間 平成 29年 4月 1日 ～ 平成 29年 3月 31日</p> <p>調査期間 平成 29年 8月 1日 ～ 平成 29年 9月 31日</p>	
<p>III 研究の実施状況（該当項目にチェックしてください）</p> <p><input type="checkbox"/> 研究計画書どおり研究が終了した（公表方法： ）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 研究計画書どおり研究を実施した</p> <p><input type="checkbox"/> 研究計画を変更して研究を実施した</p> <p>変更審査申請書提出（ 済 ・ 未 ）</p> <p>変更内容：</p> <p>変更理由：</p>	
<p>IV 今後の研究の概要（研究が継続の場合）</p>	
<p>V 研究結果の概要（研究が終了の場合）</p> <p>看護技術未学習者で研究協力の同意を得られた看護学生13名を対象に、練習前後での技術修得度、模範映像視聴部位を調査した。結果、練習によって技術修得度が著しく上昇した対象者および練習前から高値であった対象者は、技術の「手の動き」を視覚的に修得した後、シーツの形など周囲へ視点を移行させ、技術の正確性をより高めていた。</p>	
<p>VI その他報告すべき事項</p> <p>特になし</p>	